

# JB Customer Report

カスタマーレポート

RISOGRAPH MH635

当社で実際に機械をご導入いただいたお客様の  
「生の声」をご紹介します！ 取材：営業部 営業企画推進課

## 可児市シルバー人材センター 様

可児市シルバー人材センターの宮川様に、2022年7月に導入したMH635についてお話を伺いました。

### 「単色より2色を選んだ理由」

昔からリソグラフは使用していましたが、時代の変化と共に黒のみの単色ではなく色を付けて印刷した物をお渡し出来たらと思うようになり、前機種MEシリーズをはじめ現在はMH635を使用しています。センターでは、はがきや封筒も印刷をしますが、約900名の会員様へのお便りとその他の案内文や啓発チラシなどの配布物が主で、毎月約3,000枚程度の印刷を行っています。特にメインとなる印刷物は、会員様への「シルバーだより」で、これには必ず写真を載せたいと思って作成していますが、単色ではどうしても味気ない印象になってしまう為、やっぱり2色で伝わるお便りを配布したいと思っていました。実際に2色印刷ができるようになってからは、写真の色も明るさ調節だけで上手く印刷ができて、やり直しも不要で、見え方を気にして試す必要もなくなり、とても作業負担が減りました。また写真の見え方は2色印刷の疑似カラーでより映えて見えるようになり、会員の方にも「見やすくなった」などの声をかけてもらえるようになりましたね。やはり2色機(2色印刷)はお便り作成するのに欠かせない機械だと感じています。

### 「リソグラフを使い続ける理由」

センターで発行するお便りにリソグラフを使用する理由は大きく分けて二つあります。一つ目はやはりコスト面です。会員様へのお便りとなると枚数も多く、月1回のシルバーだより以外にも、会員様へ配布する印刷物は定期的ではないものの何種類かあります。印刷枚数が特に多くなる時期もありますが、1原稿を刷れば刷るほど印刷単価が下がるリソグラフは枚数が多い印刷をする当センターにとってはとてもありがたい存在です。

二つ目は、『手作り感』ですね。他にもカラーで刷る機械はありますが、その状況下でもリソグラフを使用するのはこの理由が大きいと感じています。出来上がった時に、カラー印刷はとてもきれいだと思いますが、リソグラフで印刷したお便りの手作り感から伝わる温かさには変えられないものがあると思っています。アナログでしか伝えられないものも多くなると思いますので、これからもお便りはこのリソグラフで印刷していきます。

### 「今後の課題と活用について」

今の使用方法は、より精度の高い分版を行うために、2色印刷する物はUSBメモリからデータ出力し、分版を行わないモノクロ印刷や、画像などが無いイラスト等の原稿は紙で印刷するなど、印刷種類によって使い分けを行っています。2色印刷でも原稿の作り方などで印刷の魅せ方を変えることもできるので、今ある機能を今後もフル活用してみたいと思います。

現段階では、お便りなどの印刷物だけでも他に望むことはない程リソグラフの使用感に満足しています。今後も内製化できるものがあれば、更にリソグラフを有効活用していきたいと思っています。



### 営業担当者の声

2色印刷を有効に活用していただき、誠にありがとうございます。会員の方々に「見やすくなった」とのお言葉をいただいていることは、2色機を継続して導入していただいた甲斐があり、大変嬉しく思います。

今後は、様々な場面でもっと他に有効な使用方法がないかをお客様と一緒に考えながら、今以上に欠かせない機械だと思っただけの提案を模索していきます。



担当営業：尾関 紀彦